

南国市都市計画 マスタープラン

健康な生活環境の中で
多様なライフシーンを演出する

玄関交流都市

南国市都市計画マスタープランとは、将来のまちづくりの基本的な方針のことです。

このマスタープランは、南国市の都市づくりの目標およびそれを具体的に進めるための諸計画を掲げた「総合計画」の中の都市計画分野について、意向調査や地元説明会により住民の意向を踏まえ、より詳しく定めたものです。概ね20年先の都市の将来像を描いて、土地利用・交通計画・公園・緑地などの整備を進めるため基本的な方向を示しています。

平成11年4月に策定しました。

■都市計画マスタープラン 策定の目的

都市計画マスタープランは、住民の意向を反映させたいうえで、まちづくりの具体性のある将来ビジョンを確立し、行政をはじめ住民がまちづくりに関する共通目標を持つことを目的としています。

■計画対象区域と 目標年次

▼計画対象区域／市都市計画
区域（6618ha）

▼目標年次

平成30年（概ね20年後）



■南国市の将来像

県の玄関口としての多機能

導入により
広域間および地域間の
交流機会を
創出し、新
たな都市活
動を多方面
に触発する

「交流結節
都市」を形
成するとと
もに、優れ
た自然・田
園・歴史文

化資源を素地にして、定住・
就労・就学などの多様かつ多
彩な都市活動を支援する社会

資本の創出により、健康的で
文化的なプラスアルファのゆ
とりある生活が展開できる
「自立都市」を形成します。

◆交流結節都市

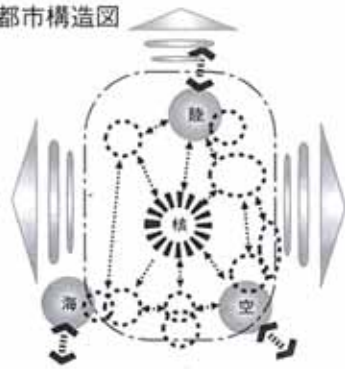
自然・歴史・文化性を活か
した来訪者との広域的交流
新たな産業活動の展開によ
る地域間交流
健康・文化を軸とした多世
代間の交流

空港および教育・研究機能
を軸とした国際交流
これらの交流活動を周辺都
市および県全土に展開・波及
する都市

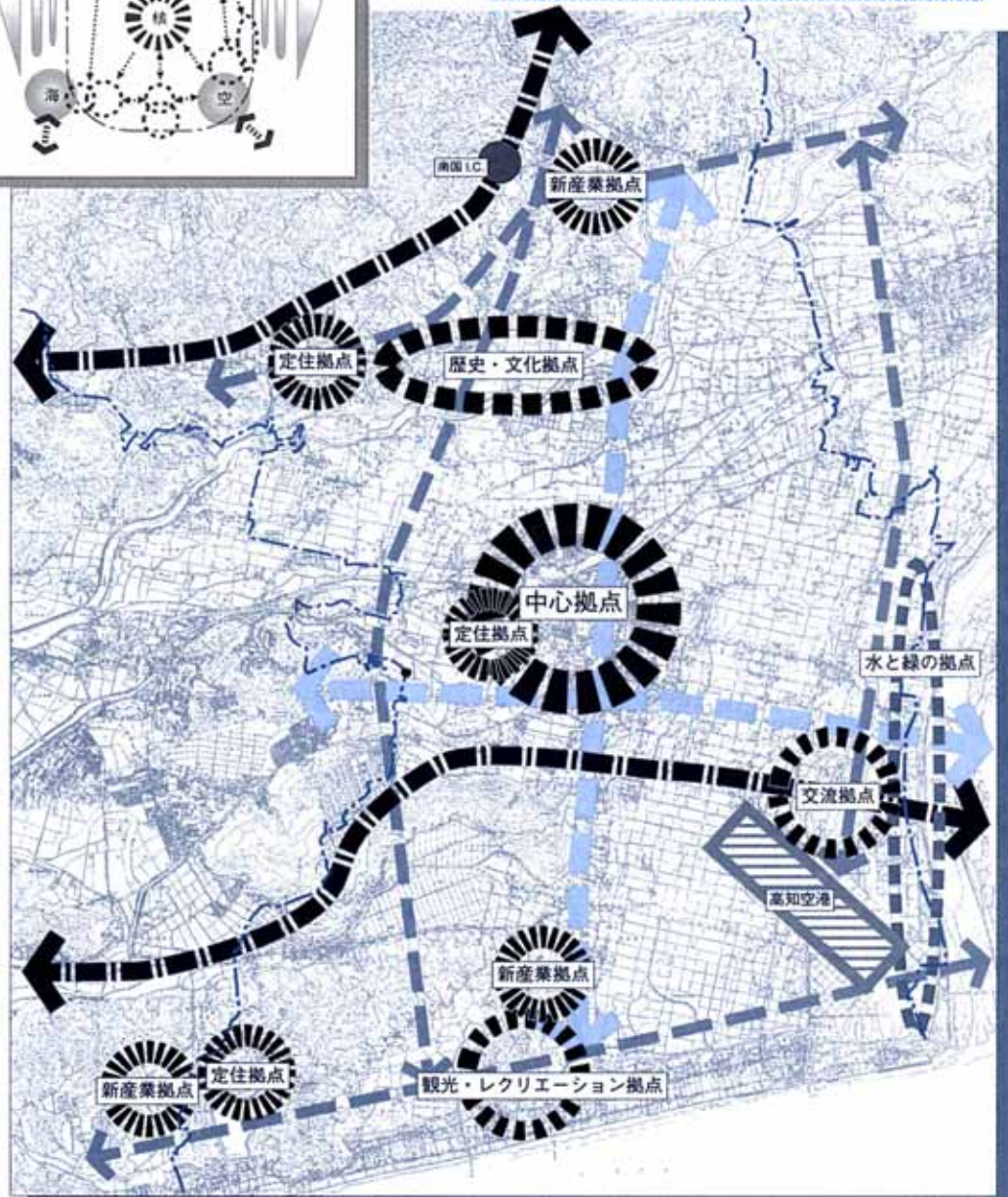
◆自立都市

近くに働き・学ぶ場所があ
り、日常の買い物などの生活
が何不自由なく送れ、誕生か
ら老後まで、安全で快適、そ
してゆとりある生活環境の中
で様々なライフスタイルが展
開できる都市

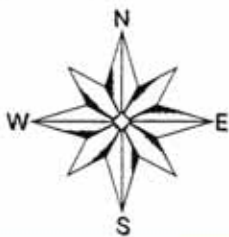
都市構造図



全体構想図



- 広域交通軸
- 都市活動中心軸
- 都市補完軸
- 行政界



都市づくりの基本方針

■拠点づくりの方針（7つの拠点）

①中心拠点

（ザ・ごめんパワーアップシティ、市役所周辺）
 高次都市機能の集積により、中心性の強化と高知第二の都市としての拠点整備を行い、行政機能を中心とした、商業・業務地、都市居住地としての育成を図ります。

②新産業拠点（南国オフィスパーク、高知みなみ流通団地、なんごく流通団地）

広域交通網のポテンシャルを活かした産業、業務、物流機能の集積による産業拠点を整備し、地域発展の経済的基盤づくりを行います。

③歴史・文化拠点（まほろばの里）

国府、長岡、岡豊地区の歴史的資源や文化施設、伝統的まちなみ等を活かした空間・施設整備により、歴史・文化を軸とした趣のある拠点形成を図ります。

④水と緑の拠点（物部川沿岸）

物部川の多自然環境を守り育て、緑の広場、親水空間としての拠点整備により、魅力ある広域的な余暇空間を創出します。

⑤交流拠点（空港周辺）

空港近接の立地条件を活かし、人・物・情報が行き交う交流拠点整備を行うことにより、地域の活性化、新たな魅力の創出を図ります。

⑥観光・レクリエーション拠点（琴平山周辺）

南国市の魅力をアピールするとともに、市民の多様な余暇活動を支援する機能導入により、新たな魅力と健全な市民生活の創出を図ります。

⑦定住拠点（十市、岡豊、篠原）

県都高知市および南国市の業務集積を支える受け皿住宅地の整備により、地域の発展と定住促進を図ります。